

# 奈良市の健康医療

令和4年度版



奈良市健康医療部

## はじめに

2022（令和4）年度版の「奈良市の健康医療」をお届けします。

令和4年度は、依然として新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行が続く中、国内ではオミクロン株による感染拡大の影響で、8月に一日当たりの新規感染者数が約26万人と過去最多を記録しました。

一方で、水際対策や行動制限の緩和、発生届の全数届出見直しなど「ウィズコロナ」への動きが進みましたが、2023（令和5）年5月8日からは感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ変更されることが決定され、感染防止と社会・経済活動の両立と日常生活の維持を念頭に、ウィズコロナの取り組みを更に進めることになりました。

コロナ禍を契機に、改めて日々の健康づくりの大切さが見直されている昨今、地域住民の健康を支える広域的・専門的・技術的拠点として、保健所の果たす役割が再認識されています。

本市においても、令和4年3月に策定した「奈良市第5次総合計画」に「生活をつなぐ（健康長寿）」など4つの重点分野を掲げて施策の方向性を示しており、市民の皆様の健康で安心・安全な生活を支える上で、健康医療部が担うべき役割は大変重要なものであると認識しております。

本書は、令和3年度に健康医療部で行った保健衛生業務の事業実績をまとめたものです。市民の方々が安全に安心して暮らせるよう、健康医療部並びに中核市保健所としての役割を果たしてまいります。

本市の取組を皆様にご理解いただき、広くご活用いただければ幸いです。

奈良市健康医療部長

増田 達男